

SEIFU GAKUEN *International Program*

「国際6か年コース」を発展的に解消

新たに「国際人育成プログラム」がスタートしました！



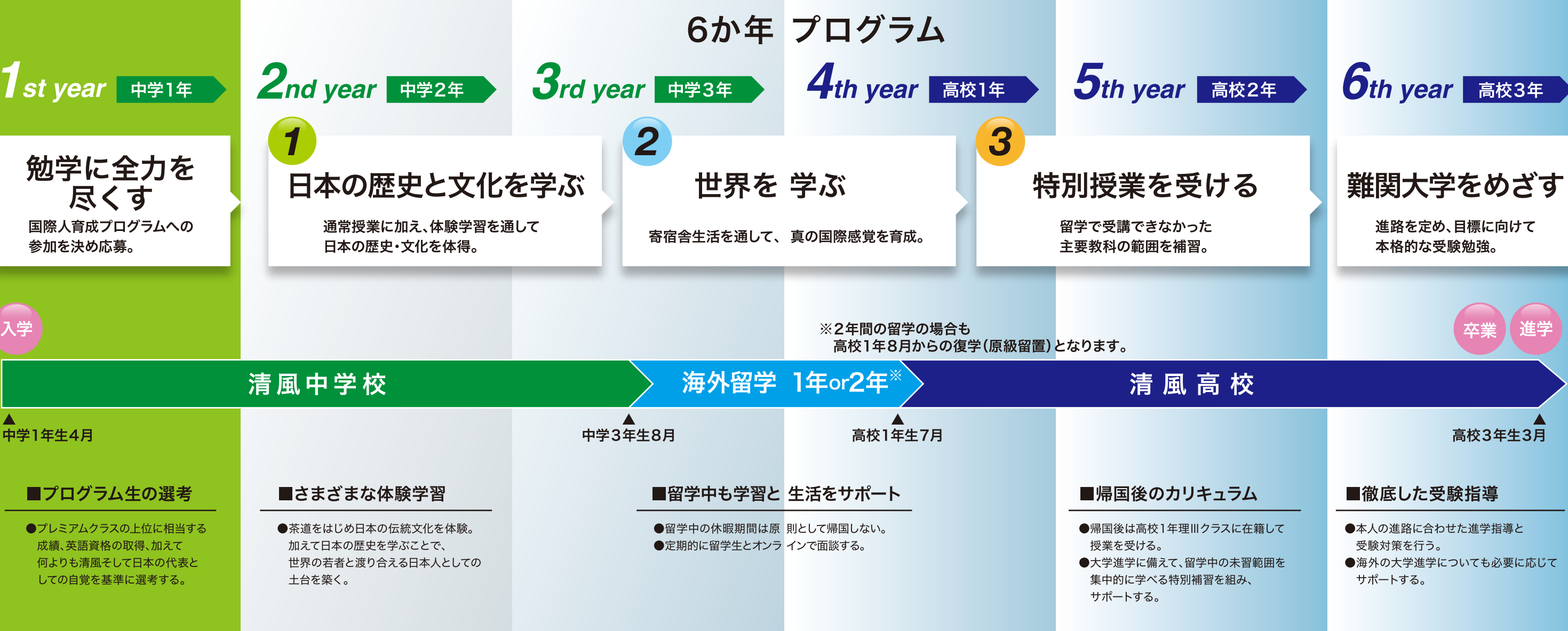
清風中学校
国際人育成プログラム

入学後に
どのコースからでも
長期留学への
チャレンジが
可能です。

清風学園独自の国際人育成プログラム3大特長

目的は真の国際人を育てること。文化体験も留学体験もそのための手段です。自国に愛情と誇りを持ち、他国の若者と切磋琢磨し、世界に貢献できる人材になる。その道筋を留学者に一任せず、本校スタッフが開拓し導くこと。それが清風学園国際人育成プログラムのミッションです。

- 1 日本文化の学び
- 2 長期留学
- 3 受験に向けた個別指導



留学した当初は新生活に慣れるのが大変でした。

在校生からのメッセージ



清風高校3年生
清永 太陽
アメリカ ニューメキシコ・ミリタリー・インスティテュート (NMMI) に留学しました



NMMIに留学した当初は新生活に慣れるのが大変でした。特に日々の勉強には苦労し、時には夜中の2時まで起きて宿題を終わらせることもありました。訓練・授業・課題と毎日が本当に忙しかったです。しかし、段々とその生活にも慣れ始め、今では成績が良くなっただけでなく、バスケットボール部で今シーズン、選手としてプレーをすることができました。こちらに来てからストレスに苦しんだ日は数えきれませんが、それを乗り越えてきたことで、成長できたと実感しています。清風に入学し、そしてNMMIに留学することができて本当に良かったと思います。

国際人育成プログラムの強みをお伝えします。

卒業生からのメッセージ



早稲田大学 社会科学部2回生(2025年卒業)
乾 翔
カナダ セントアンドリュース・カレッジに留学して帰国しました



まず、このプログラムは「真の国際人を育てること」を目的として創設されました。そのため、単に長期間留学し、英語を学び、帰国するというわけではありません。真の国際人となるには、その過程で日本文化を習得して他国の学生と自他の文化の違いを認め合い、見聞を深めることが重要です。私は実際に茶道などの日本文化を学んでからカナダへ留学し、現地の学生と触れ合っていく中で教養を深めることができ、真の国際人になれたと自負しています。しかし、勉学や実技などを通常の教育課程に加えて放課後や休日に補習として取り組むことになるため、強い意志を持っていない方にはお勧めできません。ですが、その意志を持つ者には、諸先生方や先輩たちが支えてくださるので、必ず「真の国際人」になれることをお約束します。

1 日本文化の学び

茶道の習得



講義



稽古(作法)



稽古(お点前)



茶道部の初釜行事にも参加

表千家の先生方による本格的な指導を受ける。校内の茶室を用い、お点前の稽古を月3回、放課後に行う。また、先生のオリジナルテキストによる座学の講義も毎月1回実施。所作のひとつひとつに意味があるという茶道の「こころとかたち」を学ぶ。



日本文化の体験



稲刈り体験
自然栽培米の生産農家の協力を得て田植えや稲刈りを行う。農業体験を通して日本の農村を知るとともに、「食」の大切さを学ぶ。



適塾見学
蘭学者の緒方洪庵が大阪に開き、福沢諭吉も学んだ適塾を見学。幕末の若者の志に思いを馳せる。



城郭見学
城の構造や庭の美しさ、石積み技術などに直接触れることを通して、歴史を身近に学ぶ。

2 長期留学

「ボーディングスクール」

ボーディング (boarding) は寄宿生活を意味する言葉です。ボーディングスクールで学ぶ生徒たちは、恵まれた教育環境で質の高い教育を享受するとともに、寮生活を通じて礼儀や規律を身につけ、他者との協調精神と自立心を育むことができます。



学寮の1日[例:スコッツ・カレッジの場合]

平日の日課	日曜日の日課
07:30 起床、シャワー、整頓、着替え	08:45 起床、シャワー、整頓、着替え
07:45 朝食	09:00 朝食
08:20 朝礼(月/水/金)	09:30 部屋点検
08:45 授業開始	12:30 昼食
15:30 授業終了	12:45 寮のミーティング(点呼)
15:45 学校のスポーツ活動(クラブ活動)	17:00 部屋・浴室・ゴミ箱点検
18:00 夕食	18:00 夕食
18:45 予習	20:30 寮のミーティング(点呼)
21:30 就寝	21:15 就寝



【主な科目】[例:セント・カレッジの場合]

芸術-美術/演劇/音楽
デザイン-建築/電気工学/ICT
個人と社会/歴史/メディア
国語-文学/古典
言語取得-英語/第二外国語
数学
保健体育
理科-物理/化学/生物
特別学習-宗教



Monmouth School
モンマス・スクール

Headmaster
Mr. Melvyn Roffe
校長
メルヴィン・ロフ先生

We are delighted to welcome you to Haberdashers' Monmouth School, a school proud of its heritage and confident in its future. We combine academic excellence with outstanding pastoral care in a supportive, inclusive environment. We greatly value our developing partnership with Seifu Gakuen and look forward to welcoming students to Monmouth through the programme.

ハバダッシャーズ・モンマス・スクールへようこそ。当校は伝統を誇り、未来に自信を持っています。優れた学術水準と卓越した生徒指導を、温かく包容力のある環境の下で両立させています。私たちは清風学園とのパートナーシップの発展を大変重視しており、このプログラムを通してモンマスに学生を迎えることを楽しみにしています。



3 受験に向けた個別指導 進学を見据えた個別の特別授業で徹底サポート



数学の特別授業



地理の特別授業



古典の特別授業

留学から帰国したプログラム生は、高校1年理Ⅲコースのクラスに在籍します。
通常の授業を受けながら、放課後は、大学受験に向けて必要な科目の補習(特別授業)を受講します。
受講科目は、本人の進路志望をふまえて設定されます。マンツーマンに近い授業なので、効率的な学習が可能です。



Q1 清風を選んだきっかけは何ですか？

小学校5年生の時に塾の先生に教えてもらったことでこのプログラムを知りました。当時の私の英語能力はほとんどないに等しく、長期留学などできる自信もなかったのですが、外の世界に浸ることができる絶好の機会だと思い、また清風のプログラムが英語は入学後に身につけるという姿勢だったので、今となってはやや向こう見ずな決断だったと思いますが、清風を目指そうと決めました。

卒業生インタビュー

京都大学 農学部3回生(2024年卒業)
吉田 直輝

Q2 6年間で成長した、体得できたと思っていることは何ですか？

留学期間はコロナの影響で半年と本来よりも短くなりました。半年の間で英語能力はかなり向上したと実感していますが、それでもペラペラというほどには至りませんでした。しかし、精神面ではかなりの成長があったと思います。障壁なく意思疎通ができる相手がいなかった環境にいて自分がかかなり心を強くしてくれますし、問題を解決するには自分で動くしかないというときもよくあったので、行動力が身についた気がします。

Q3 6年間で振り返っての感想を聞かせてください。

この6年間は本当に様々な彩りが詰め込まれた6年だったと思います。留学に向かうまでの間は茶道、坐禅、禊など、本当に様々なことを体験させていただきました。中学生の頭ではその精神まで理解するのは難しかったですが、文化というものがとても深いということを知ることができました。自分の中に日本人としての自覚が生まれたような気がします。留学中は英語を正しく発音したつもりでも全く理解されないことが多く、他の留学生は私より英語が上手で、さらに日本人は私一人だけだったので、かなり精神的につらい時もありました。しかしそんな私に寄り添い、下手な英語でも理解しようとしてくれる友人がいたことが当時はこの上なく嬉しかったのを覚えています。留学後、私は清風での勉強が遅れていましたが先生方が私一人のために補習授業をしてくださり、何とか遅れを取り戻すことができました。とても感謝しています。

本物の留学は清風にある

英語を話す人材より 英語で日本を語る人材を！



英国/共学校

モンマス・スクール
Monmouth School



アイルランド/男子校

クロンゴーズ・ウッド・カレッジ
Clongowes Wood College



日本/男子校

清風学園
Seifu Gakuen



ニュージーランド/共学校

スコッツ・カレッジ
Scots College



ニュージーランド/男子校

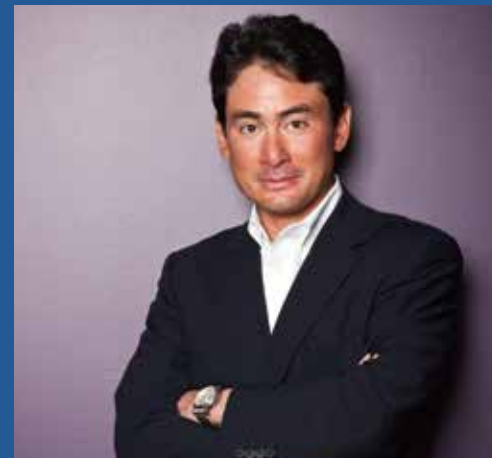
セントビーズ・カレッジ
St. Bede's College



カナダ/男子校

セントアンドリュース・カレッジ
St. Andrew's College

国際人に聞く 野口健さんからのメッセージ



アルピニスト、
NPO法人 富士山クラブ理事長、
NPO法人 ピーク・エイド理事長 野口 健氏

自分のことを大切にすることができない人は、他人をも大切にできない。それと同じように、自分の国を愛せない人は、世界に対しても愛のまなざしを向けることができない。若い人たちには、日本のことをよく理解して、そして、世界に目を向けていってほしい。世界を見ながら、自分が何をすべきか、何をしたいのか、じっくり感じ、考えていく事が大切である。

1973年 アメリカ・ボストン市生まれ。
イギリス立教英国学院高等学校在学時に植村直己の著書『青春を山に賭けて』に感銘を受け、登山を始める。25歳の時にエベレスト(ネパール名サガルマータ)登頂に成功。七大陸最高峰の世界最年少登頂記録を更新した。その頃から環境問題への意識を強く持つようになり、エベレスト、マナスル、富士山などの清掃登山に精力的に取り組んでいる。清風学園には、数回にわたって訪問、高校生を対象に教育講演を行っている。

Q&A

Q1 以前の国際コースと比べて変わることは何ですか？

A 国際人育成プログラムの対象生徒は、入学試験時に募集するのではなく、入学後にコースに関係なく希望者を募り、その上で選考します。また、留学期間も1年または2年の選択制にします。

Q2 国際人育成プログラム生に選ばれるための条件は何ですか？

A 清風中学校入学後に学年上位の成績を収め、かつ、英検3級以上を取得すること。そして何より清風の代表に相応しい態度・姿勢を備えていることが必要です。

Q3 中学校入学時に必要な英語の学力はどのくらいですか？

A 高い語学力を有することは望ましいことですが、必要な条件ではありません。入学後の徹底した英語指導を通して留学に必要な語学力の基礎を習得させます。

Q4 独自の学習内容とは何ですか？

A 放課後を利用して、茶道を継続的に学びます。お点前の習得に加え、茶道の歴史について専門的な講義を受講します。また、神社・仏閣の参拝や史跡・城郭のフィールドワークなどの日本文化の体験学習を行います。また、英語や宗教などの科目は必要に応じて国際人育成プログラムの生徒のみで授業を受けます。

Q5 留学ができない場合は、具体的にはどういうケースでしょうか？

A 希望する留学先候補校の課す認定試験がすべて不合格の場合は、留学することができません。また中学2年時の成績が悪化した場合、留学が許可されないことがあります。

Q6 留学先候補の試験はどのようなものですか？必要な語学のレベルはどのくらいですか？

A 英語による面接試験と学校の推薦書類は必須です。留学時に求められる語学力は、学校による違いはありますが、目安として英検2級以上程度のレベルが期待されます。

Q7 帰国後の進路指導体制はどうなっていますか？

A 帰国後は国内の難関大学への進学を前提とした理Ⅲクラスに所属します。留学中に受講できなかった教科・科目は、大学受験、とりわけ共通テストの受験に対応できるように放課後や長期休暇期間中に補習授業を行います。

Q8 留学時の費用はどのくらいかかりますか？

A 国や学校により学費にかなり違いがありますので、一概に言えませんが、食費や寮費を含めて年間で約700～1,100万円(2026年4月現在)が必要です。この他に渡航費用や休暇中の滞在費用などが必要です。



学校法人

清風学園

〒543-0031 大阪市天王寺区石ヶ辻町12-16
TEL.06-6771-5757(代表)